

Ⅱ 編集後記 Ⅱ

記録的な大雪も去り、水ぬるむ桜便りの好季節となりました。会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて『史観』第一五四冊をお届け致します。

本号には、日本史（中世一、近世一）、西洋史（中近世一）、東洋史（近代一）、考古学（比較考古学一）の多様な論文五本を掲載しました。

山科言継と女達、近世の火薬製造、ドイツの地域的アイデンティティ、ボグド・ハーン政権とロシア、北米ミシシッピ文化と、興味深い力作が揃いました。どうぞ一読下さい。

また早稲田大学史学会大会報告を掲載致しました。同日の午後に史学会大会シンポジウム『いまなぜ自由民権か―東アジアの近代と市民社会の形成―』（一〇月一五日）が開催され、多くの参加者による活発な質疑応答が行なわれました。また参加した学生、院生からも多くの意見や希望、感想が寄せられましたので、今後の大会運営に活かして行きます。

一昨年まで本学会長を務められた福井重雅先生（東洋史）が、この三月で定年退職されます。長い間の御指導、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

残念なことに本年一月、安齋和雄名誉教授（西洋史）がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り致します。

最後に、年度末の忙しい時期に本冊の編集を担当していただいた森下壽典さんに、篤くお礼申し上げます。

（岡内三眞）

執筆者紹介（掲載順）

清水克行	本学文学学術院非常勤講師
中西崇	本学大学院博士後期課程
橘誠	本学大学院博士後期課程
皆川卓	本学文学学術院非常勤講師
菊池徹夫	本学文学学術院教授
佐藤宏之	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
高橋龍三郎	本学文学学術院教授
榮田卓弘	本学名誉教授

平成十八年三月二十日印刷
平成十八年三月二十四日発行

史観

第百五十四冊
定価 一千円

編集者 小倉欣一

印刷所 株式会社 白峰社

発行所

早稲田大学史学会

東京都新宿区戸山一―二四―一

電話東京（三〇三）四一四一番

振替〇〇一九〇―八一―四六二九